

ウクライナ戦争。毎日情報更新。第93日

攻撃を受けている都市 ロシア人は同時にいくつかの方向からウクライナ軍を襲っています。ロシア軍はハルキフの住宅地を砲撃しました。攻撃の結果、7人の民間人が死亡し、9歳の子供を含む17人が負傷しました。昨日の夜、ロシア軍はドニプロペトロフスク州を砲撃した結果、重要なインフラストラクチャを破壊されました。救助隊は瓦礫の下で人を探しています。ルハンスク州では、セベロデンスクの方で激しい戦いが続いています。ロシア軍は砲兵と航空で街を砲撃しています。セベロドネツクとリシチヤンシクでは26日、3方向からウクライナ軍の包囲を目指すロシア兵数千人とウクライナ兵の攻防が続いた。昨日、ロシアの占領者はドネツク州でさらに5人の民間人を殺害しました。占領地の犠牲者の数に関する正確な情報を入手することはほとんど不可能であるため、この数にはマリウポルとヴォルノヴァカからの情報は含まれていません。

占領を受けている都市 占領下のヘルシンク州の人道的危機は、医薬品の不足により悪化しています。薬局の大部分は閉鎖され、薬の価格が3~5倍に上昇したまま営業している小さな薬局はごくわずかです。一方、占領者はクリミアから違法に薬を輸入し、地元の市場で販売しています。すべての薬は認定されておらず、人間の生命と健康を危険にさらす可能性があります。ロシア軍はカホフカ水力発電所(HPP)の2つの油圧ユニットの修理を許可しておらず、ノバカホフカの部分的な洪水につながったと報告しています。

マリウポリ市民は被害を受けた家を自分で再建しています。

外交政策。フィンランドのサンナ・マリン首相が、キーウ市、イルビン市、ブチャ市を訪問しました。訪問中、首相はウクライナで起きたことすべてを世界のターニングポイントと名付け、モスクワとの関係は侵略前の状態に戻ることができませんでした。ウクライナのデニス・シュミハルと首相の会談で、カウンターパートは、ウクライナのインフラの将来の再建にフィンランドを関与させ、ウクライナの都市や町の再建に参加することに合意しました。さらに、彼らはEU内での協力の緊密な調整、特に欧州連合への加盟に向けてウクライナで改革を実施する際のフィンランドからの支援について合意しました。

NATO事務局長のイエンス・ストルテンバーグは、ギリシャのオンラインメディアとのインタビューで、ウクライナでのロシア戦争は長期にわたる可能性があり、長期にわたる支援を提供し、補充する準備をするよう同盟国に呼びかける準備が必要であると述べました。

欧州復興開発銀行のオディール・ルノー・バッソ社長は、POLITICOの見解で、ウクライナはまだ再建段階にないことを強調しましたが、戦争中は支援が必要です。侵略直後にウクライナ向けの20億ユーロの対策パッケージを発表した欧州復興開発銀行は、ウクライナのインフラストラクチャの運用を維持することに重点を置いています。金融パッケージは、ネットワークの機能を維持し、来年の冬に備えてガスの貯蔵を確保するために、主に電力会社とガス会社、鉄道をサポートすることを目的としています。サポートの別の部分には、農業部門とロジスティクスチャネルに引き起こされた混乱の克服が含まれます。欧州復興開発銀行は、ウクライナの新しい経済モデルを開発する機会も見えています。

健康の安全。世界保健機関の議会は、ウクライナの医療制度に対するロシアの攻撃を非難する決議に賛成票を投じました。ウクライナの決議の成功は、病院や診療所への攻撃が続く場合、ロシアが議会から停止される可能性を高めます(*それらはおそらく続くでしょう)。ロイターによると、決議は、世界保健機関のディレクターであるテドロス・アダノム・ゲブレイエソス将軍長からの報告書と一緒に提出され、ロシアの侵略による「壊滅的な」健康への影響を浮き彫りにしている。

食品の安全性。ウクライナの農業大臣は、真夏までに、ロシアによるウクライナの海上輸出の封鎖によって引き起こされた食料供給の圧迫と穀物価格の上昇を世界が感じ始めるだろうと警告しました。パンデミックの衝撃からまだ回復している世界の食糧流通ネットワークは、ロシアが世界の小麦の4分の1以上を供給していた2つの国であるウクライナへの侵略の結果として、新たな危機に直面しています。

ロシアのプーチン大統領とイタリアのドラギ首相は木曜日に国際的な食糧危機を緩和する方法について話し合い、クレムリンは西側が制裁を解除した場合にのみこれを行うことができると述べた、とロイターは報告していました。ロシアは依然として食糧供給チェーンの混乱におけるその役割を否定しているが、西側を脅迫し続けており、食糧供給ルートを開くことと引き換えに制裁を解除しています。このタイプのブラックメールは、ガス供給の場合にすでに観察されているため、新しいものではありません。

メディア。ロシアはジャーナリストに対して280の犯罪を犯しました。5月24日の時点で、ロシアの兵士は最前線からの報告中に7人のメディア労働者を含む29人のジャーナリストを殺害しました。少なくとも15人のジャーナリストが行方不明です。ロシア軍はメディアの代表者を誘拐し、捕らえ続けています。誘拐されたジャーナリストの9例が報告されています。ロシア軍からの脅威、ニュースルームの押収、一時的な占領下での運営不能により、少なくとも113の地域メディアが閉鎖を余儀なくされました。

戦争犯罪 木曜日、2人のロシア軍人が、ロシアとの国境を超えたところからウクライナ東部のハルキウ地域を砲撃したことで有罪を認められました。ロシアの全面的な侵略が始まって以来、ウクライナでは2回目の戦争犯罪裁判が行われました。軍人のアレクサンダー・ボビキンとアレクサンダー・イワノフは、ロシア国境のベルゴロド市の近くから、デルハチ村を砲撃し、学校を破壊させた砲兵隊の一員であることを認めました。検察官によると、大砲の運転手と砲手を務めた男たちは国境を越え、捕らえられる前に砲撃を続けていました。この3か月間、ロシアは恥知らずにジュネーブ条約に違反してきました。ご覧のように、ロシアにとってこの戦争で従うべき規則はありません。

世論調査 92%のウクライナ人がロシアに対する拒否的な考えを表明しています。2%のウクライナ人だけがロシアに対して肯定的な考えを表明しています。最近行われたキーウ市国際社会学機関の世論調査の結果によれば、ロシアに対する考え方の変化の傾向を公表しました。全面的な侵略の数週間前、世論調査の34%の回答者がロシアに対する肯定的な考えでした。 2022年2月24日以降

でも占領下地域に住み続けている市民の絶対多数はロシアに対する拒否的な考え方であり(82%)、一方6%だけがロシアに対する肯定的な考え方であることが分かりました。

読書コーナー

- [Ukrainian fighters use electric bikes in the war against Russia - The Washington Post](#)
- [Rubles for gas: Who's paid so far? – POLITICO](#)
- [Invasion of Ukraine pushes Georgia to reexamine its fraught history with Moscow — Coda Story](#)
- [Putin's Mariupol Massacre is one of the 21st century's worst war crimes - Atlantic Council](#)

総計情報

- 過去16日間、ウクライナに戻るウクライナ人の数は、去る人よりも多いです。
- ウクライナ軍参謀本部は2022年5月27日午前10時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました: 人員約29,750人、戦車1322台、装甲戦闘車両(APV)3,246台、砲兵システム623台、多連装ロケットシステム(MLRS) 201台、対空戦システム93台、固定翼航空機206台、ヘリコプター 170台、軽装甲車1,926台、ボートおよび軽装ボート13台、運用戦術レベルUAV503台、特殊装備38台、移動式短距離弾道ミサイルシステム115台。

すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！

- #[BikesForUkraine](#) をご支援ください。いくつかのNGO(U-Cycle (NGO 'Kyiv Cyclists' Association'), NGO 'Eco Misto' (Chernihiv), NGO 'Youth Association Extreme Style' (Sumy), NGO 'Urban Reform' (Kharkiv)の国際キャンペーンです。バイクを使用することでボランティアが人道支援をデリバリーより簡単にできます。
- ウクライナのメディアによるソーシャルメディアや、このサイトに広めることによって、ウクライナの状況に関する最新情報を共有してください。
- [Twitter](#)と[Webサイト](#)で毎日アップデートを読んでください。
- PayPal経由の寄付で私たちのプロジェクトをサポートすることができます。[詳細](#)はこちらです。

ウクライナをご支援いただきありがとうございます！ Slava Ukraini ウクライナに栄光あれ！